



まつもとじゅん

中区・磯子区・金沢区

# 松本純 まちかど政治瓦版

令和5年5月1日号  
発行

自民党

松本純 後援会  
発行責任者  
平木 茂5月号  
2023年

No.242

松本純ホームページ▶<https://jun.or.jp/>ご意見箱▶[opinionbox@jun.or.jp/](mailto:opinionbox@jun.or.jp/)

## 「第48回 野毛大道芸」路上開催が4年ぶりに復活!



### まちかどに拍手喝采、元気な笑い声が戻ってきました

4月22日(土)、23日(日)「第48回野毛大道芸」が開催されました。路上での開催は実に4年ぶり。この日、通りのあちこちでは、カラフルな衣装に身を包んだ芸人さんたちが演ずる大道芸の花々が咲き誇りました。不思議な手品、笑いを誘う道化、不安定な足場の上での逆立ち、奇々怪々な出で立ちの怪人、恐ろしいほど身体を折り曲げるアクロバット……、訪れた老いも若きも、小さなお子さんまでも、驚嘆と笑い声の溢れる中、拍手喝采や声援を送るなど、自由で大らかな野毛の町を楽しまれました。

野毛は私の生まれ育った町です。飲食店を中心に160あまりの店が軒を連ねるこの町には、これまでもさまざまな危機に見舞われてきました。特に深刻だったのは「野毛大道芸」が誕生した37年前の危機です。

もともと野毛の賑わいの源泉は「桜木町」駅の目の前に位置すること。東急線と京浜東北線の二つの桜木町駅は共に終点駅のため、乗降客も多く、夕刻ともなれば人の流れは野毛へと向かい、それがこの商店街の命綱でした。ところが根岸線延伸によりJR桜木町駅は通過駅に、さらに海側に広がる大規模な三菱造船所が移転となり、そこで働く多くの野毛の常連客も失われました。そして37年前、東急線「桜木町」駅の廃線が決まったのです。次々と生命線を絶たれる中、なんとか多くの人に集ってもらえる町にしたいと、町がたぐり寄せたのが「野毛大道芸」のアイデアでした。当時、私は30代半ば、小さな薬局のあと継ぎでしたが、町の仲間や先輩たちと、素人ながらイベント実現のために奔走する日々が続きました。

野毛大道芸は、私が政治家になる原点でもありました。町の危機を乗り越えようともがき苦しむ中、「額に汗する者が報われなければ」という一念で市議員に挑戦、さらに国政へと踏み出したのも、野毛大道芸に多くの観客が集まり始めた頃のことでした。

4年ぶりの路上開催、久しぶりに再会した仲間たちは、誰もが実感したはずです。「子や孫の代までも続けてゆきたい」と。

#### 「松本純政経セミナー2023」開催のお知らせ

- 日時 令和5年6月12日(月) 午後6時30分講演 午後7時30分懇親会
- 講師 麻生太郎自民党副総裁(予定)
- 場所 横浜ベイホテル東急B2F クイーンズグランドボールルーム  
横浜市西区みなとみらい2-3-7 電話045-682-2222
- 会費 10,000円

※お問合せ 松本純事務所 電話045-241-7800

【2023年3、4月】

松  
本  
純  
の  
活  
動  
記  
録

- 3月21日●瀬戸神社春季大祭神事
- 22日●神奈川県自動車整備政治連盟  
令和5年度第42回定例総会
- 神奈川県日華親善協会新年会
- 23日●横浜市薬剤師会令和4年度臨時総会
- 26日●山元町二丁目商店街朝市
- 4月2日●日ノ出町青年会桜まつりmini

- 初黄町内会花見
- 11日●吉田町町内会・名店街役員会・市況研究会
- 国税労働組合総連合・東京国税労働組合面談
- 15日●山純会
- 16日●杉田十日会商店街例会
- 18日●JUN CLUB定例会
- 杉山貴英氏バンドライブ(元横浜JCSマイリングバンド)



3/19 中原正一位稲荷大明神初午祭  
 ●齋藤博章講演より「久しぶりの初午祭で今日は直会はしませんが、来年は新たな講元を鹿島安雄さんをお願いしたいと思います」との挨拶があり、鹿島新講元が紹介されました。



3/19 根岸町自治会防災訓練●防災担当大臣を務めた松本純から「公的救助の到着まで地域の方々が現場で助け合うことの大切さを痛感。今日の防災訓練が実りあることを祈念いたします」と挨拶がありました。



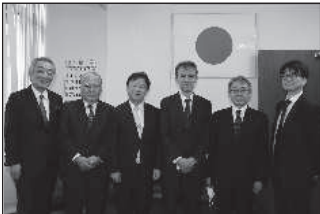
3/25 金沢文庫朝市●金沢文庫駅東口「ふれあい広場」を会場に40年ぶりに開催され、お祝いに駆けつけた松本純は、その盛況ぶりに企画したふれあい商店街・金澤功会長に大成功への賛辞をお伝えしました。



3/26 野榮クラブ(野毛2丁目)第3回お誕生会●イタリアンパル・ラパラバで開催。永持矯子会長の挨拶の後、来賓の松本純は、お誕生月を迎えられた皆様へのお祝いに続き、国政報告をさせていただきました。



3/26 野毛3・4丁目もちつき●ちえるる裏小公園にて開催。野毛3・4丁目役員の皆様が準備されたテント前には多くの方が集まり、松本純は「全力でつきます!」の宣言通り、天井を気にしながらも力強く餅をついていました。



3/30 日本バイオシミラー協議会要望面談●黒川達夫理事長と役員の皆様からバイオシミラー及びバイオ発展の要望書を頂戴しました。我国の医薬品開発の厳しさに対し国は開発の解決の方向性を示さなければなりません。



4/1 柴水神社祭●漁業祭事が熊野神社末社で斎行され、富岡八幡宮・佐野主水宮司と佐野巖禰司による祝詞奏上と湯立神楽が奉納されました。松本純も組合員の皆様の海上安全と豊漁を祈願させていただきました。



4/11 湘南ヘルスイノベーションパーク訪問●代表取締役社長・藤本利夫氏のご案内で多数の企業が参画し創業に取り組む施設を見学、松本純のライフワークである日本の創業力強化の課題などについて考えました。

## 永田町日記 子供たちにより深い思考・理解を

### 教育の可能性を拓く 聖光学院 工藤誠一校長に聞く

私が聖光学院に入学したのは1963年、6期生でした。中高一貫教育の6年制、私が中学1年の時に、高校1年にいたのがオフコースの小田和正さん、鈴木康博さん、地主道夫さん。文化祭で見事なフォークソングハーモニーを聴き、ハマってしまい、バンドボーイのように演奏のお手伝いをさせていただきました。それが今や県下ではトップクラスの進学校です。どのような教育方針で指導されているのですか？

**工藤** 生徒の自主性を勉学の面でも尊重しています。夜も9時ぐらいまで学校を開け、高校3年生は互いに励まし合いながら切磋琢磨し合える環境を作りました。そんなことが進学結果にも結びついていると思います。

**松本** 最近、教育現場はコンピューターや高速ネットワークを駆使したGIGAスクールと言われる時代に変化していますね。  
**工藤** 黒板でチョークを使っていた時代から、AIを使い、オンラインで授業を受け、3次元的に教材を見る、あるいは様々なものを容易に調べられる時代になりました。その分、子どもたちはより深い思考・理解、これを深めていくことができる。それが教育現場に求められています。しかしこの変化は大変費用がかかる。ソフトを絶えずバージョンアップしなければなりませんから。将来日本を背負う子どもたちのために、

政府が、国が、テクノロジー導入のための費用負担をしていただきたい。それが世界に冠たる日本を築くことにもつながると思っています。

**松本** 大変な使命をいただきました。私も教育現場のデジタル化推進支援のために、努力精進をしてみたいと思います。

YouTube  
 matsujun411  
 動画 配信中

